

## 久留米自習室のセンター対策は正しかった！

今回のセンター試験も、久留米自習室は大勝利でした！

予定通り、数学と国語は捨てて良かったですね。あの難しい数学が、更に難しくなった印象がある今年のセンター数学。勉強した生徒でも、50点～60点というところでしょう。そして、勉強しなかった生徒が30点～40点ぐらいでしょうから、「難しすぎて、差がつかない低得点の数学」だったと思います。逆に、国語は短すぎる問題ばかりで、難易度は素晴らしいと思いましたが、国語が弱い生徒でも時間が余ってしまったことでしょう。久留米自習室は「国語も捨てる！」と、国語を勉強しないように指導して来ましたが、185点が一人、184点が二人、183点が二人・・・など、誰でも9割取れていました。つまり問題が短かすぎて、国語ができる生徒でも、190点台、200点満点だったと思いますが、久留米自習室の生徒たちのように、勉強していない生徒たちでも180点台だったわけで、「問題が少なすぎて、差がつかない高得点の国語」だったと思います。数学のように難易度が上がると、少々勉強しても「努力が報われません」が、国語のように「問題数が少ない」のも同じですね。英語や理科や社会のように、「努力が報われるセンター入試」のように、適度な易しさと「問題量を増やす」事が、我々「受験屋」潰しになります。

久留米自習室では、「英語・理科・社会」に全力を尽くしていますね。これらは、努力している生徒は8割、9割取れるけど、努力していない生徒は3割・4割しか取れないという、確実に差がついてしまう教科だからです。数学と国語を捨てさせてますので、英語は190点、189点、185点が二人、物理96点、87点、85点、化学90点、80点、生物84点、生物基礎44点、化学基礎42点、日本史97点、世界史92点、地理87点、倫政78点、政経80点など、英・理・社が圧倒的に点が取れています。数学や国語を勉強していたら、こんなに点数は取れません。完璧に作戦勝ちというわけです。もちろん、英・理・社を少々下げても、医学部狙いの生徒たちには数学を頑張らせましたので、数学IA89点、86点、IB97点など、そういう生徒には数学を取らせませぬ。高校3年生からセンター試験対策を始める生徒が多いので、英語と理科と社会だけで終わってしまうのが普通です。数学や国語まで勉強している時間はありません。「数学と国語は勉強するな」というのが、大学入試センター側からのメッセージであることは、問題を見ても明らかでしょう。塾や予備校で、センター対策の数学や国語の授業を受けていた生徒たちが一番損をした事でしょう。あれは、学校の授業を大事にする久留米自習室方式が正解です。竹やりを持って、B29に突撃していくようなものです。附設高校の生徒たちは頭がいいので、同じ竹やりしか持ってないような偏差値の低さではあるのですが、B29が来たらすぐに防空壕に逃げ込みます。

つまり、こういう国語や数学は最初から勉強しません。それをマネする事です。偏差値が高いだけの生徒は合格しません。そういう頭の良い生徒を選抜するためのセンター試験なのです。これから国語が問題量を増やしたり、数学が教科書の問題を全て60分で解けばばかりに大量に易しい問題を出すようになってきたら、我々のような「合格請負人」も廃業ですね。そうはならないと思いますが。